

2025 年 4 月 24 日

株式会社 NTT DX パートナー
株式会社 NTT データ

秋田銀行へ温室効果ガス排出量可視化プラットフォーム「C-Turtle® FE」を導入 ～2030 年度ネット・ゼロ達成に向け、サステナビリティ・トランスフォーメーション推進を強化～

株式会社 NTT DXパートナー（代表取締役社長：阿部 隆、以下：NTT DXパートナー）、株式会社NTTデータ（代表取締役社長：佐々木 裕、以下：NTTデータ）は、株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔、以下：秋田銀行）に対して、温室効果ガス（以下：GHG）排出量可視化プラットフォーム「C-Turtle® FE（シータートル エフイー）」を4月より提供開始しました。秋田銀行が推進する2030年度ネット・ゼロ達成に向けたサステナビリティ・トランスフォーメーション（SX）を支援します。

【背景】

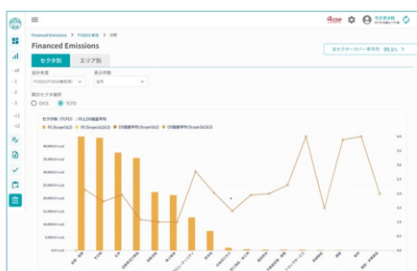
秋田銀行が主要マーケットとする秋田県は、広大な農地や森林、変化に富んだ気候風土を特長としており、近年では豊かな水資源、熱資源、風力発電に適した地理的優位性を生かした、持続可能な地域社会の実現を推進しています。秋田銀行は、気候変動リスクへの適切な対応を実施するため、2030 年度ネット・ゼロを目標とし GHG 排出量（以下：ファイナンスド・エミッション）算定および削減の具体的な取り組みとして省エネ活動などを積極的に推進しています。

このたび、ファイナンスド・エミッション算定のさらなる高度化に向け、NTT DX パートナーと NTT データが提供する C-Turtle® FE の利用が決定しました。

【C-Turtle® FE の特長】

C-Turtle® FE は、金融機関の国際的基準「PCAF スタンダード」に準拠した、ファイナンスド・エミッションの可視化と削減を支援するプラットフォームです。GHG 可視化プラットフォーム「C-Turtle®」の新サービスとして、金融機関およびその投融資先を対象としています。

PCAFスタンダード対応、金融機関様向けGHG排出量算定プラットフォーム



Point 1 PCAFに準拠したFE算定

国際基準「PCAFスタンダード」に基づいた算定が可能、セクター別、投融資先別の排出量を可視化します

Point 2 幅広い企業のGHG排出量情報を保有

大企業から小規模企業まで幅広く企業の GHG 排出量情報（一次データ）を保有しており、データクオリティの高い算定が可能です

Point 3 取引先とのエンゲージメント促進

取引先の GHG 排出量情報を金融機関様へ連携し、情報収集の効率化/取引先管理にも活用できます

【今後について】

NTT DX パートナーと NTT データは、秋田銀行との連携を中心に、秋田県における地域企業の脱炭素化の促進およびカーボンニュートラルとともに、持続可能な地域社会のさらなる発展に貢献します。

- 「C-Turtle®」は日本国内における株式会社 NTT データの商標です。

<https://www.nttdata.com/jp/ja/lineup/c-turtle/>

- 本リリースは、NTT グループが展開する GX ソリューションブランド「NTTG×Inno（エヌティティ ジーノ）」の取り組みの一つです。



URL : <https://group.ntt.jp/group/nttgxinno/>

- 「NTTG×Inno」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

「NTTGX（Green Transformation）×Innovation」の略称であり、NTTグループが社会へのソリューション提供を通じて GX 分野で Innovation（変革）を起こし、2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献していく取り組みです。

- その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

報道発表資料に記載している情報は、発表日時点のものです。

現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ